令和8年度 市長と語る会　坂井市自治会連合会

期日	令和8年9月30日（水）	時間	19:00～20:10	場所	坂井市役所3階大ホール
参加者	坂井市自治会連合会代議員／12人　…三国町区長会連合会役員、地区区長会会長				
	坂井市／14人　…市長、副市長、教育長、総務部長、総合政策部長、健康福祉部長、生活環境部長、各支所長				



参加者からの意見・提案等（一部抜粋）	市からの返答
Q.DXの推進とデジタル活用支援について 市が進めるDXの取組は、市民サービスの向上や事務負担の軽減につながる有効な施策であると考えます。一方で、オンライン申請やデジタルサービスの利便性が市民に十分伝わっていないように感じます。デジタル機器に不慣れな方への支援や、デジタル化による効果を分かりやすく示しながら、市民の理解を深めていく取組が必要ではないでしょうか。	A. デジタル化は、行政手続きだけでなく日常生活全般に広がっており、今後もさらに進展していくと考えています。一方で、デジタル機器の利用が難しい方への支援は重要な課題であり、市ではコミュニティセンターにおけるスマホ相談会などを実施しており、今後もデジタルサービスの利便性を広く周知しながら、オンライン申請などの拡充に取り組んでたいと考えています。
Q.「自治会サポ！」の普及促進について 自治会アプリ「自治会サポ！」については、行事案内や地域情報の発信、災害時の避難所開設情報の周知などに活用しており、大変便利なツールであると感じています。一方で、登録率は一定程度まで進んだものの、その後伸び悩んでいる状況があります。特に若い世代の利用促進や未登録世帯への働き掛けについて、市としても支援策を講じていただきたいです。	A. 「自治会サポ！」は、災害時の安否確認や情報共有をはじめ、自治会運営の効率化につながる有効なツールであると認識しています。グループLINEでは把握しにくい情報確認状況も把握できるなど、多くのメリットがあります。市全体では導入率が約4割にとどまっており、今後も説明会や出前講座を通じて普及促進を図っていきます。また、利用者の意見を踏まえながら機能改善を進め、より使いやすいシステムとしていきたいと考えています。
Q.若い世代や子育て世代の地域活動への参加促進について 新しい住宅地の増加などにより、若い世代や子育て世代の地域活動への参加が減少していると感じています。地域活動を義務としてではなく、「子どもが楽しめるから参加したい」と思えるような仕組みづくりが必要ではないでしょうか。地域の自然や文化を活用した親子参加型イベントや、地域・学校・各種団体が連携した取組を通じて、若い世代が地域とのつながりを感じられる機会を増やしていただきたいです。	A. 子どもを中心とした地域イベントは、保護者や祖父母世代の参加にもつながり、多世代交流の場として非常に有効であると考えています。近年は学校側からも地域行事へ参加したいとの声があり、地域と学校の思いは一致していると感じています。今後も学校やまちづくり協議会、自治会などと連携しながら、子どもたちが地域に関わる機会を増やし、地域活動の活性化につなげていきたいと考えています。
Q.近年の豪雨を踏まえた治水対策の強化について 近年は想定を超える豪雨災害が発生しており、従来の防災対策の見直しが必要になっています。河川改修や排水ポンプ場などの治水施設については老朽化対策や機能強化を進めるとともに、市域を越えた広域的な視点での治水対策を進めていただきたいです。	A. 今回の豪雨災害を通じて、豪雨対策や治水対策の重要性を改めて認識しました。河川改修や排水施設の整備は今後も継続して進めていきますが、一朝一夕に完了するものではありません。短期的に実施できる対策と中長期的に取り組む対策を整理しながら、災害に強いまちづくりを進めてまいります。